

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和5年 3月 1日

事業実施地区	しゃべくり老男子会
事業名	しゃべくり老男子会運営事業
団体名及び 代表者名	(団体名) しゃべくり老男子会 (代表者名) 代表 (連絡先)

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

毎月第3土曜日の午後、柳原交流センターを主会場に開催し、高齢者の障害等に配慮し、投影機や拡声器等の機材を購入し充実した運営を図る。参加者が、人生経験や現在今後の生活設計・課題等を語りあったり、楽器演奏や歌を唄ったりして、言語力や表現力を養い、親睦を深め、認知症予防に役立てる。	【事業完了日】 令和5年2月28日 【総事業費】 88,000円 【補助金額】 88,000円
--	--

## ※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

高齢者の障害等に配慮し、投影機（プロジェクター、書画カメラ）や拡声器（ワイヤレスマイク）等の機材を購入した。発表する際は、写真や資料等を拡大投影して語るにより、聞いている参加者は、理解し易くなり好評であった。また、ワイヤレスマイク2本を使用することにより話題についての討論や意見交換がスムーズにでき発言しやすい環境が整いました。機材購入後、しゃべくり老男子会を7回開催し延べ60名の参加があり、居場所づくりや認知症予防に役立てることができました。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	機材購入により、発表者や司会運営の拡声及び参加者の名前がすぐにわかり、発表や意見交換での発言が活発になり、会の運営が充実しました。また、資料等の拡大投影により発表の内容が分かり易くなり、参加者からは好評をいただいている。			

## ■今後の取組予定

コロナ禍ではあるが、日常的に会話や親睦・交流の乏しい男老人等に声がけしたり、地域の新聞等で参加者を募集し、自由に発言・発表し自己表現できるよう地域の仲間づくりを更に拡大し、居場所づくりや認知症予防に寄与するため継続して活動して行きたい。

1/21

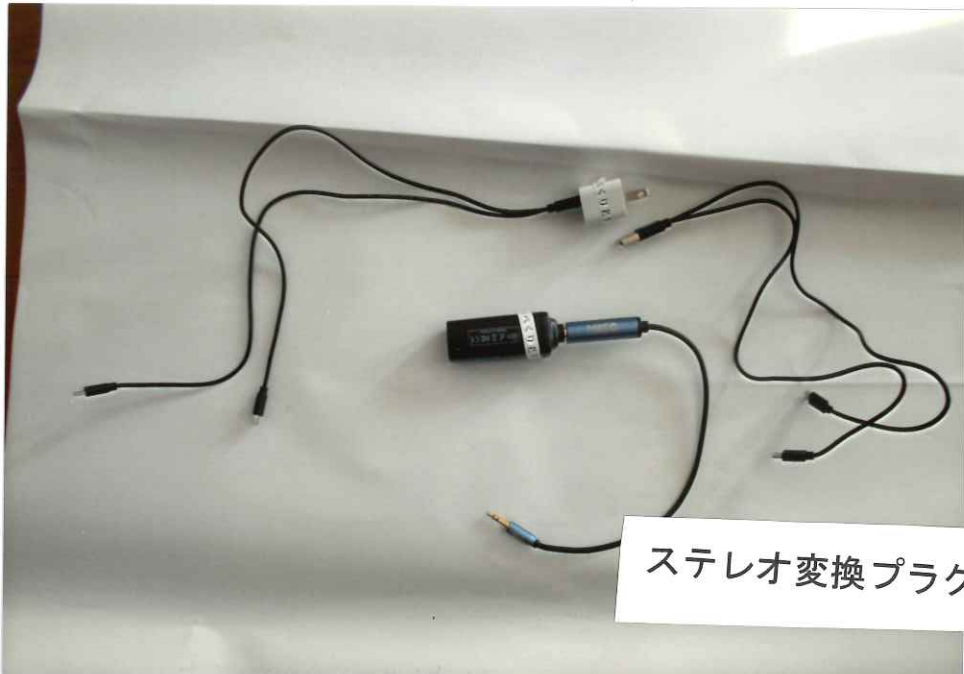


①

プロジェクター  
キャノンLV-X301



②



③

ステレオ変換プラグ 1個

2/21



書画カメラ 1機

プリンストンPDP-U8MASET

④



L型カード立て 20枚

クラウンCR-KR180part

⑤



バックルコンテナ 1個

機材収納用 アイリスオーヤマBL45

⑥

3/21



布野区長に機材一式を保管して貰っている



機材は布野区長に依頼して  
布野公民館事務室に保管



保管してある全部入ったプラ容器  
布野公民館の施錠してある事務室

4/21



プロジェクターで映写して説明する会員



無線マイクで発言する会員

無

5/21



自分の実践を無線マイクで話している会員



無線マイクで質問し、2本のマイクは討論に便利

今日は「いい子症候群」ネタで  
金間大介教授に聞く(信濃毎日新聞2022/12/4より)

かなま・だいすけ(1975年札幌市生まれ)  
金沢大学融合研究域融合科学系教授  
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授  
専門:イノベーションとモチベーション

先生、どうか  
皆の前で  
ほめないで

携帯電話から接続して講演の様子を説明する会員

6/21



無線マイクで発表している会員



質問について無線マイクで答える会員



無線マイクで発言する会員

7/21



討論会で盛り上がった会員



自分の脈拍に関して無線マイクで発表



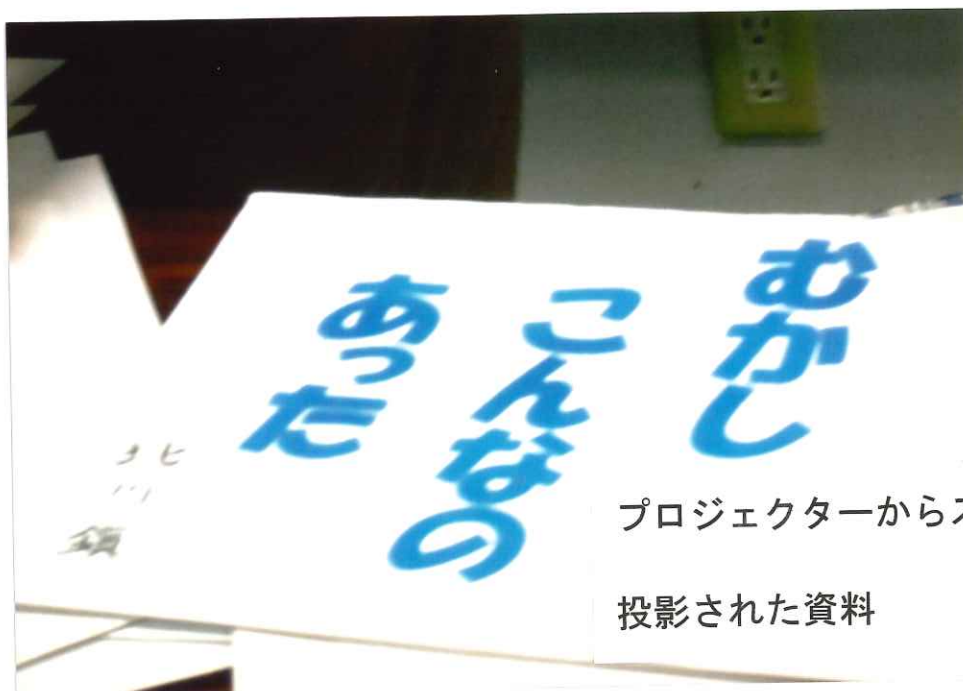
携帯電話の資料からプロジェクターで写して





自分の意見を無線マイクで話している

8/21



プロジェクターからスクリーンへ  
投影された資料



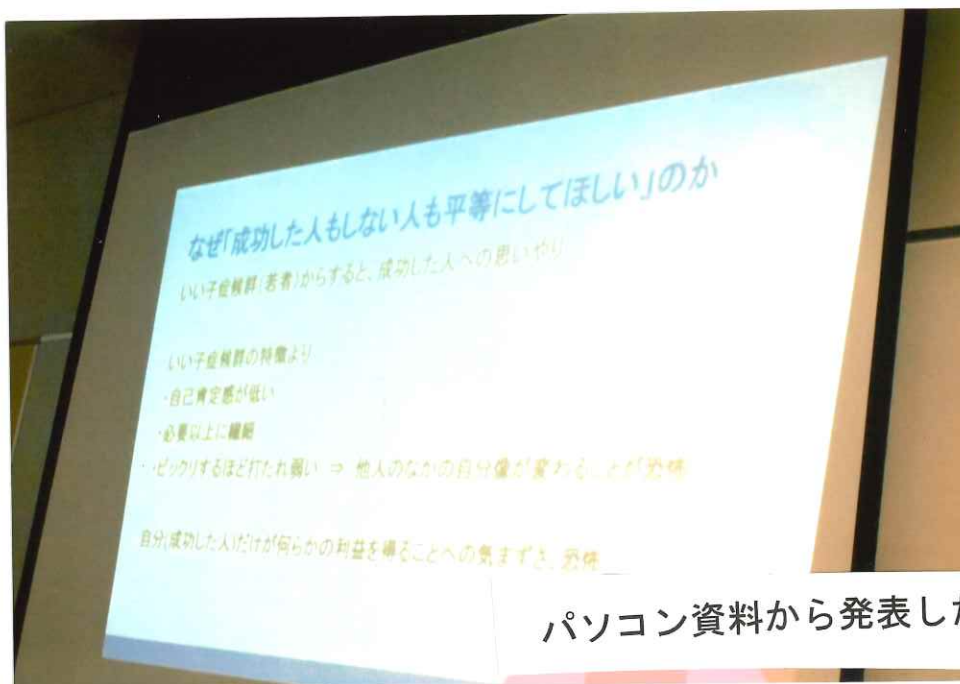
自分の携帯電話の資料をプロジェクターへ  
接続している会員



柳原地区内の堤防の高さを示している写真



マイクで話す会員



パソコン資料から発表したスクリーン



発表に聞き入る会員達

10/21



無線マイクで熱弁を振るう会員



無線マイクで熱弁を振るう会員



資料に関して討論している会員

11/21



携帯電話のホームページを引き出して  
プロジェクターで映写して説明



納得した新情報をメモしている会員



12/21

携帯電話の資料を映写した会員



発表を聞き入っている会員



資料を書画カメラの写して  
プロジェクターでスクリーンへ  
説明する会員



無線マイクで熱弁を振るう会員

13/  
21



信毎の原稿を映写した会員



マイクも使わず、独唱する会員

14/21



花咲か爺さんの紙芝居をする会員



山王小学校で読み聞かせの  
紙芝居を発表している

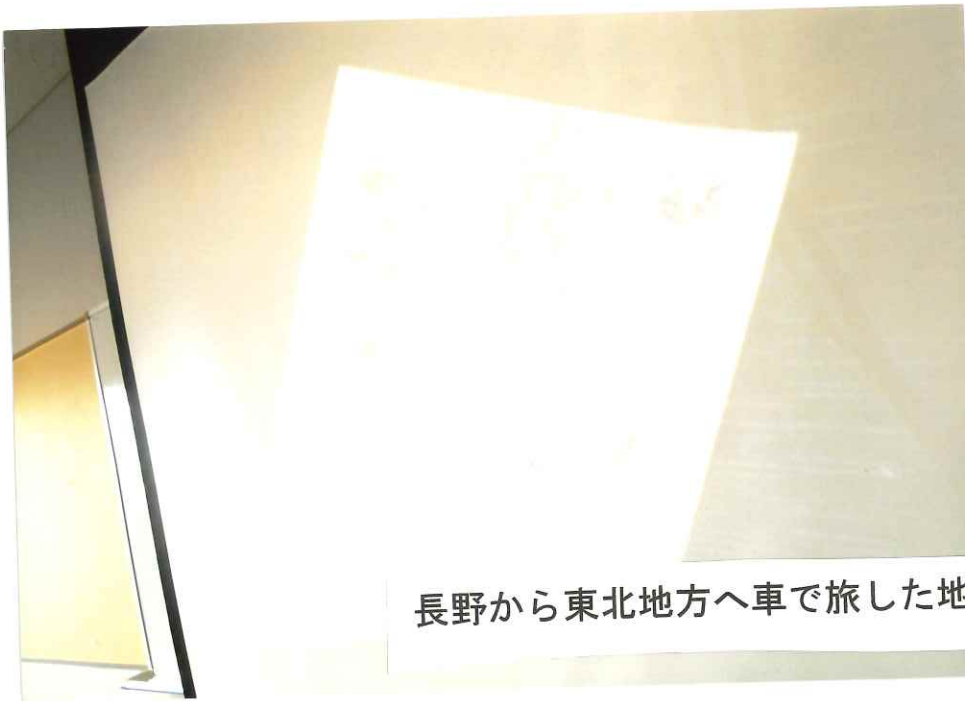


会員の発表をじっくり聞き入る会員達



15/  
21

自前のパソコンの資料を  
プロジェクターで映写して説明



長野から東北地方へ車で旅した地図を映写している



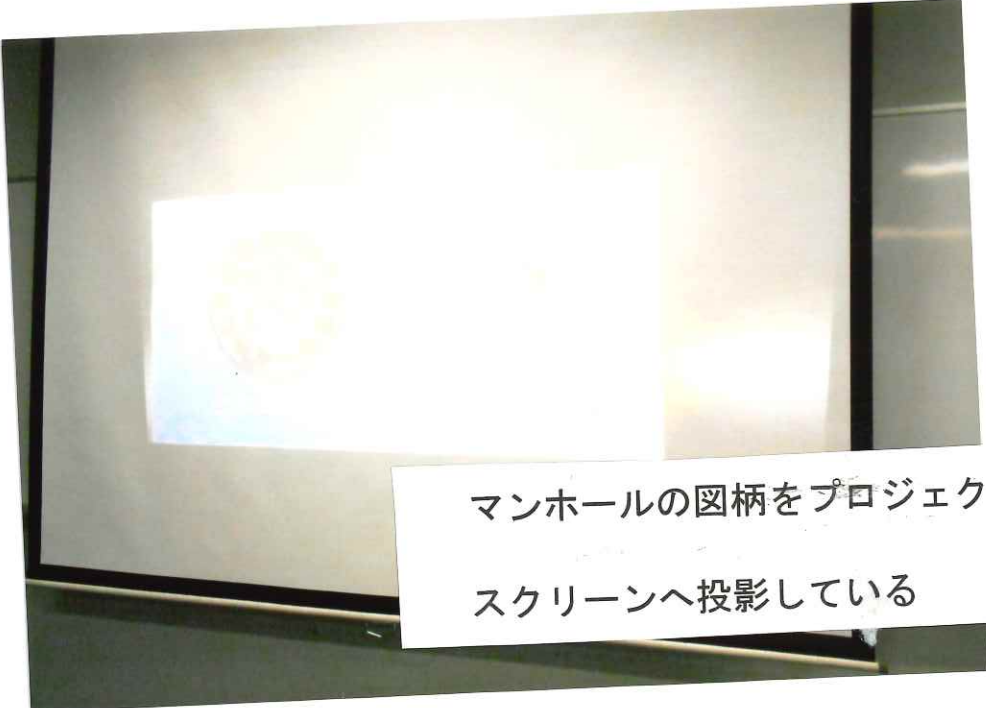
書画カメラの写り方を教えあっている



16/21



社会や自然現象をメモを見て発表



マンホールの図柄をプロジェクターからスクリーンへ投影している



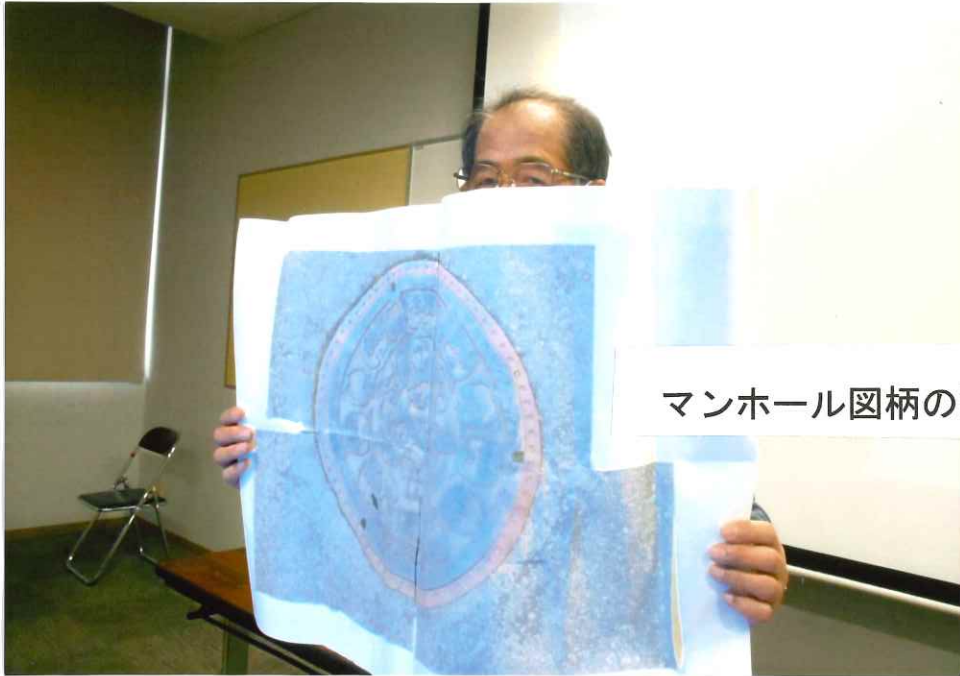
資料を書画カメラで写し取って説明する会員

自分のパソコン資料をスクリーンへ映写している会員



17/  
21

マンホール図柄の説明に熱が入る会員



市内のマンホールの図柄を展示した会員





18/  
21

小紙の資料を書画カメラから



米国の車のナンバープレートの話しをする会員



無線マイクで熱弁を振るう会員



19/  
21

最近読んだ本の感想をマイクで発表



資料を見て、プロジェクターで投影している



資料を書画カメラに写している会員

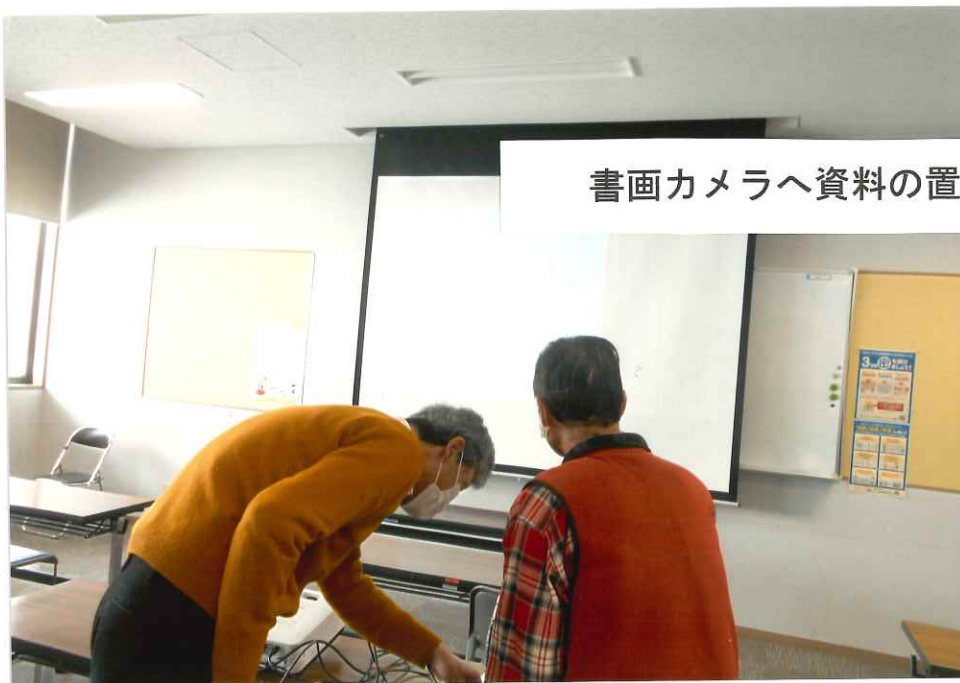


20/  
/21

プロジェクターで投影した会員達



説明を映写幕をみて納得している会員



書画カメラへ資料の置き方を教え合っている様子



21/21

最近殆んど見られない

オナモミの植物の話題



石垣から1本だけ生えた

ど根性の下仁田ネギの話題



柳原・布野区のどんど焼きと今昔の

を話した会員

# 論をつなぐ

## 建設標

通勤期間が1時間以上ある  
の東京電力福島第一原発事故を受  
けて導入された規定だ。腰の引け  
だ対応できる問題ではない。

厚労省は、その反省の上  
に独立性の高い「3業委員会」と  
して事故の翌年に発足した。

ギ一事情の劣化を捉え、急激  
しているのが今の原発推進だ。か  
崩しの回帰は認められない。

### 地域の交流市の支援に感謝

日常の会話を楽しみたい  
も、誰でも話をしない・できな  
い日もある高齢の男性が少なく  
ない。過去の人生経験や現在の  
生活、将来設計などを思いつ分  
語ったり、ギターやマンドリン、  
得意な演技を披露したりと、親  
睦を深める同好会を立ち上げ  
た。交流センターなどで毎月1  
回開催し、6年間も続いている。  
だが、高齢の参加者には聴

人もいる。大声で各自の持ち  
時間約20分間もしゃべるのはエ  
ネルギが必須になる。有線マ  
イクをマイクに接続して拡声  
器としていたが、有線マイクで  
は質問・討論などをやる時、コ  
ードを回すのに難儀することが  
ある。さらに、各自の発表で小  
さな紙の資料を持参しても、参  
加者にはよく見えないが、採  
り上げてもらえるといい。

私の住む市には「地域力向上  
支援金事業」がある。この支援  
金で充電式の無線マイクを本  
と書画カメラで資料を読み取っ  
て、大画面に投影する機材など  
を購入できた。

この会の会費費や参加費、会  
費は無料。参加することで、言  
語力や表現力の向上と認知症  
防にも役立てようとしているの  
で、会費費で心から行政当局に  
感謝している。

長野市 坂本 邦夫  
(無職・77)

### 訪問看護気になる言葉遣い

夫が介護保険を利用させても  
らうことになった。幾つかの持  
病を抱えてはいるが、まあまあ  
心豊かな老後を送っていた。と  
ころがある日、家の中で転んで  
骨折して手術。20日ほど入院し  
てから自宅療養となり、介護保  
険が適用されることになった。  
早速、訪問介護の看護師さん  
や理学療法士さんが派遣され、

親切に優しく対応していただ  
き、ありがたいことと感謝して  
いる。ただ、ケアマンさんの言葉  
遣いが気になった。夫を呼ぶ時  
に名字でなく下の名を「〇〇さ  
ん」と呼ぶ。特別に敬語を使っ  
た必要はないが、社会一般で普通  
に呼び合うように姓で呼びかけ  
話していただきたいと思った。  
畢竟、同じ名字が多くて下の

名で呼び合うこともあるし、  
主人とかお父さんとかの呼び  
をしている訪問先もあるた  
ら。私が指摘したところ、下  
名で呼んでほしい人もいます。  
というお返事だった。他の企  
職の方々はどのように呼びか  
ているのでしょうか。個々そ  
れでいいですが、他の利用者  
方たちはどう呼んでほしいの  
でしょうか。知りたいところで  
す。松本市 塚原 冬  
(無職・83)

### 自然の風景に「オフ」はない

先日、ある温泉地を訪ねた時  
のことである。宿のおかみさん  
が、「冬ならよかつたのにな、  
今はシーズンオフだから」。ス  
キー場で有名な温泉だから「冬  
に来い」という意味なんだろう  
か。あいさつを交わしながら、  
不思議な気分になった。  
私は十分、自然の風景を満喫

した。夜の満天の星、森林での  
優しい木漏れ日。どれもこれも  
素晴らしい。  
以前、桜の名所を桜が散った  
後に訪ねた時も同じようなこと  
を言われた。けれど、人影がま  
ばらでよかつた上に、その広  
さに感動した。春の顔、夏の顔、  
秋の顔、そして冬の顔。晴れの

日、曇りの日、雨、雪。そ  
べてが、素晴らしい。いや、  
然る素顔を拝見でき、魂  
ふる思いだ。

かわいい赤ちゃんの姿に  
とオフがないように、一瞬  
瞬かかわいいように、自然  
景にオンもオフもない。あ  
た、貴い。日本の、信州  
この自然風景を守ろう。

長野市 田中 昌一  
(会社員)

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(柳原支所)

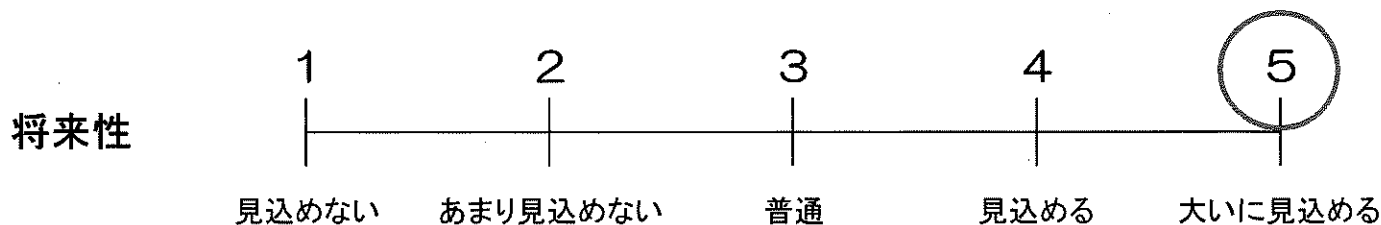
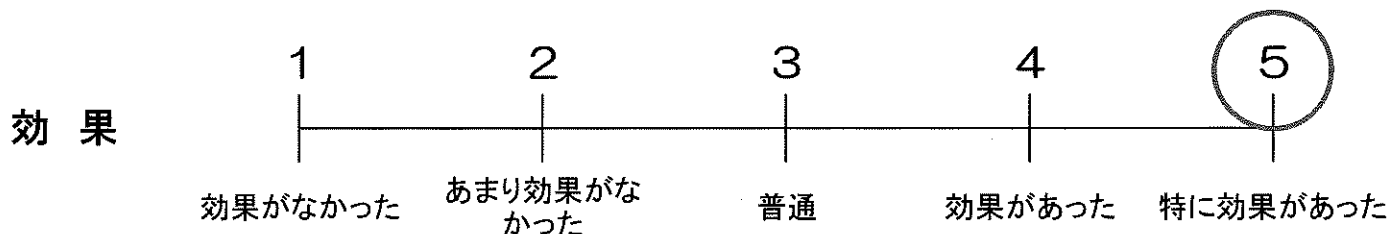
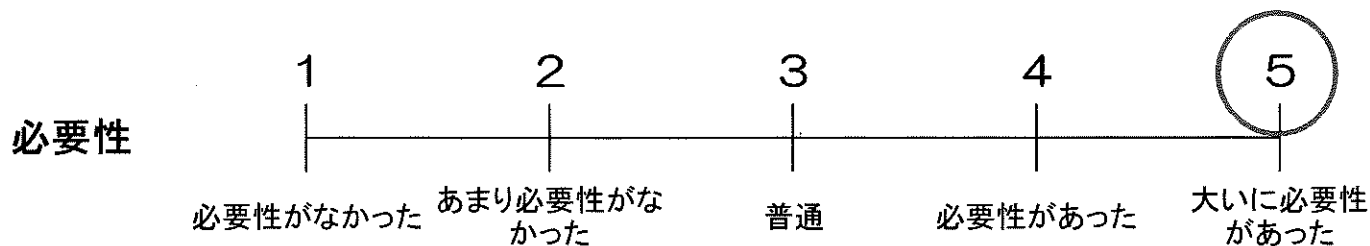
令和 5年 3月 7日

事業名	しゃべくり老男子会運営事業
-----	---------------

団体名	しゃべくり老男子会
-----	-----------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	保健・福祉活動
------	---------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

今回の備品購入が仲間同士の交流に非常に役立っている姿が伺えた。

支援金を有効に活用していただいている好事例であると受け止めている。これを機会に発表の内容の幅を広げていただいたり、意見交換や発表会だけでなく、集まった仲間とその場で簡単なフレイル予防の体操をしていただくなど、活動の内容や仲間を広げ、より活発な日常生活を送ることに繋がることを期待するもの。

今回の支援金を参加者の皆様にとって元気で生きがいのある生活づくりの良いきっかけとしていただきたい。